

ご 挨拶

拝啓

時下いよいよご清栄のこと、拝察し慶賀申し上げます。

近来、モータリゼーションの急速な進展にともない、自動車関係の報道、論説などが、専門紙誌のみならず、広くマスコミ全体にとりあげられる時代となりました。

自動車がこのように国民生活に密着し、国の経済活動と不離不即の関係に立って参りましたのにしたが、自動車および、それをとりまく諸条件について確たる認識も教養もないまゝ、安易な解説や論評をこころみる、いわゆる自称自動車評論家の輩出をみるにいたりましたことはきわめて残念なことであります。無責任な言論指導とわい曲された世論の醸成は、健全なモータリゼーションを誤った方向に導く恐れなしとしないのであり、かつまた、このために永年、真面目に自動車と取組み、専門的研究を続けて来た人達もふくめて、自動車ジャーナリスト全体が一方では批判の対象にされる形勢であります。

私達は過去三年間、こうした事態を予想してお互いに協力して参りましたが、この機会に自動車ジャーナリストとしてそれぞれの分野で責任ある活動をしている個人の団体を結成することにいたしました。この団体は先進諸国にある専門家団体にならぬ、

自動車ジャーナリスト協会

Automobile Journalists Association of Japan 略 A J A J

と呼称し、発会に当っては過去5年間の実績をもつ個人を基準にして構成しております。したがって、会員はまだきわめて少数ではありますが、専門家としての信用を裏づける権威ある協会となるよう一同相携えて努力する所存であり、国際団体(F I A J A - Federation Internationale Assn. Journalist de l'Automobile)にも加盟申請中であります。

こうした当協会結成の趣旨をご覧察戴き、この後ともご指導ご鞭達のほど賜りたく、こゝに発足のご挨拶を兼ね会員一同お願い申し上げます。

敬具

1969年8月

自動車ジャーナリスト協会
会長 高 岸 清
会 員 一 同